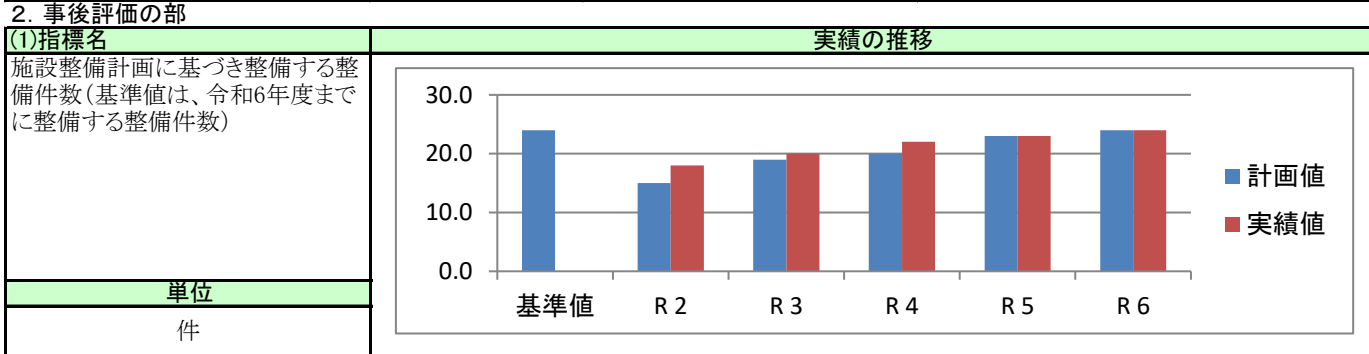


令和6年度		事務事業マネジメントシート(評価)		作成日	令和7年6月2日	作成
計画事業番号	0004910	事務事業名	消防施設整備事業(消防局)			
所属部	企画総務部	所属課	企画財政課	担当・係	営繕	
章	消防施設の整備	節	消防署所の整備	主要施策	消防施設の適正整備	
1. 事業内容						
(1)事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
①消防組合施設整備計画に関すること。 ②消防施設の整備に関すること。(確認申請の必要な建築行為を企画財政課で所管します。)						
(2) 事務事業の分析と指標						
① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 手段(どのような方法で実施するのか)		③ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		
消防組合が管理する消防庁舎		施設整備計画に基づき施設の整備を進める。		災害活動拠点施設としての機能を維持保全するとともに、施設の長寿命化を図る。		
(3) 事業費						
		決算額(千円)	令和6年度	11,070		



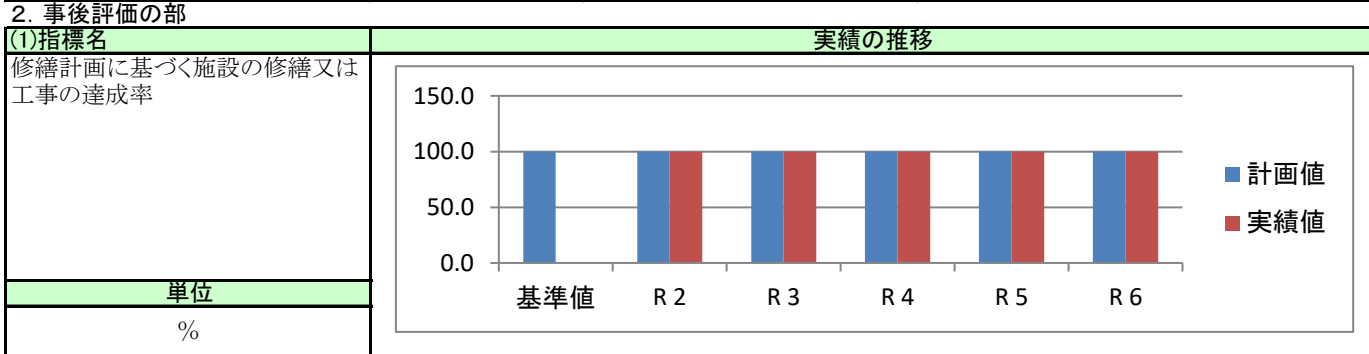
(2)現状分析				
設 問	分析			
	3	2	1	
法令に基づき、義務付けられている事業である。	義務付けられている		義務付けられていない	1
国や県、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	2
社会情勢の変化などにより、事業開始時の目的が変化している。	変化していない	若干変化している	変化している	3
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効ではない	3
事業の成果を示すデータがあり、実績がある。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率の運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
実施に当たって民間委託や市民との協働の余地がある。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2

(3)事務事業の評価
これまでの主な取組と成果
限られた財源の中で施設の機能維持及び長寿命化を図るために、施設整備計画を改訂、施設修繕計画を策定した。また、狭山消防署自家給油施設建設工事及び三ヶ島分署訓練塔建設工事の設計に関する事務を行った。

今後の課題(未達成の課題等)
消防庁舎を災害対応の拠点として、機能維持していく必要がある。また、効率的な改修・修繕を行い、施設の長寿命化が求められる。

今後の展開			今後の取組方針	
A 重点化・拡大して継続				
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能			
C 見直しして継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	A		施設の状態を正確に把握し、緊急度や重要度に応じた予防保全を行い、機能維持と長寿命化に取り組む。また、計画的な施設の改修を行うことで経費の平準化を図る。
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了			

令和6年度		事務事業マネジメントシート(評価)		作成日	令和7年6月2日	作成
計画事業番号	0004916	事務事業名	消防施設管理事業(消防局指令管理課)			
所属部	警防部	所属課	通信指令センター 指令管理課	担当・係	庶務管理	
章	消防施設の整備	節	消防署所の整備	主要施策	消防庁舎の適正管理	
1. 事業内容						
(1)事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
①通信指令センターの保守管理に関すること。 ②通信指令センターの整備に関すること。(確認申請が必要な建築行為を除く。)						
(2) 事務事業の分析と指標						
① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 手段(どのような方法で実施するのか)		③ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		
通信指令センター		通信指令センターの経年劣化状況と施設管理委託の結果から、重要度(安全性・公共性)に応じた修繕及び改修を行う。		通信指令センターを安全かつ良好な状態で維持保全することで長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図る。		
(3) 事業費						
		決算額(千円)	令和6年度	4,848		



(2)現状分析				
設 問	分析			
	3	2	1	
法令に基づき、義務付けられている事業である。	義務付けられている		義務付けられていない	1
国や県、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	1
社会情勢の変化などにより、事業開始時の目的が変化している。	変化していない	若干変化している	変化している	3
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効ではない	2
事業の成果を示すデータがあり、実績がある。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	1
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率の運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
実施に当たって民間委託や市民との協働の余地がある。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2

(3)事務事業の評価
これまでの主な取組と成果
施設の機能維持及び長寿命化を図るための保守点検や修繕を実施し、飯能日高消防署4階に所在する通信指令センターの機能を維持した。 保守点検などの委託件数9件 修繕件数2件(浄化槽構成部品等修繕、受水槽加圧給水ポンプ修繕)

今後の課題(未達成の課題等)
令和6年度からの消防指令業務共同運用開始に伴い、通信指令センターが飯能日高消防署4階に移転されたため、施設を管理する飯能日高消防署と調整しながら安全かつ良好な状態で維持保全し、建物の延命化やライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。

今後の展開			今後の取組方針	
A 重点化・拡大して継続				
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能			
C 見直しして継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合			
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了			
		B	1	施設を管理する飯能日高消防署と調整しながら安全かつ良好な状態で維持保全するため、保守点検の結果等を踏まえて、計画的な修繕を実施する。

計画事業番号	0004920	事務事業名	消防施設管理事業（所沢中央消防署）		
所属部	所沢中央消防署	所属課	消防管理課（中）	担当・係	管理
章	消防施設の整備	節	消防署所の整備	主要施策	消防庁舎の適正管理

1. 事業内容

(1)事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

- ①署の施設の保守管理に関すること。
- ②署の施設の整備に関すること。(確認申請が必要な建築行為を除く。)
- ③消防庁舎の使用許可に関すること。

(2) 事務事業の分析と指標

- ① 対象(誰、何を対象にしているのか) ② 手段(どのような方法で実施するのか) ③ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

* 人や自然資源等		
署の管理する消防庁舎	消防庁舎の経年劣化状況と施設管理委託の結果から、重要度(安全性・公共性)に応じた修繕及び改修を行う。	消防庁舎を安全かつ良好な状態で維持保全することで長寿命化やライフサイクルコストの削減を図る。

(3) 事業費

決算額(千円)	令和6年度	63,867
---------	-------	--------

2. 事後評価の部

- | (1)指標名 | 実績の推移 |
|--------|-------|
|--------|-------|

施設の修繕又は工事の達成率	<table><tr><th>項目</th><th>計画値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>基準値</td><td>100.0</td><td>-</td></tr><tr><td>R 2</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>R 3</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr></table>	項目	計画値	実績値	基準値	100.0	-	R 2	100.0	100.0	R 3	100.0	100.0	R 4	100.0	100.0	R 5	100.0	100.0	R 6	100.0	100.0
項目	計画値	実績値																				
基準値	100.0	-																				
R 2	100.0	100.0																				
R 3	100.0	100.0																				
R 4	100.0	100.0																				
R 5	100.0	100.0																				
R 6	100.0	100.0																				
単位																						
%																						

(2) 現状分析

設 問	分析			
	3	2	1	
法令に基づき、義務付けられている事業である。	義務付けられている		義務付けられていない	1
国や県、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	2
社会情勢の変化などにより、事業開始時の目的が変化している。	変化していない	若干変化している	変化している	3
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効ではない	2
事業の成果を示すデータがあり、実績がある。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率的運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
実施に当たって民間委託や市民との協働の余地がある。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2

(3)事務事業の評価

これまでの主な取組と成果

消防庁舎の修繕及び改修を行い、消防庁舎の維持保全と長寿命化やライフサイクルコストの縮減が図れた。
施設修繕25件(所沢中央消防署15件、三ヶ島分署7件、山口分署3件)
主な修繕内容(所沢中央消防署:消防隊仮眠室空調機修繕、自動火災報知器及び誘導灯修繕、山口分署:オーバードア修繕)

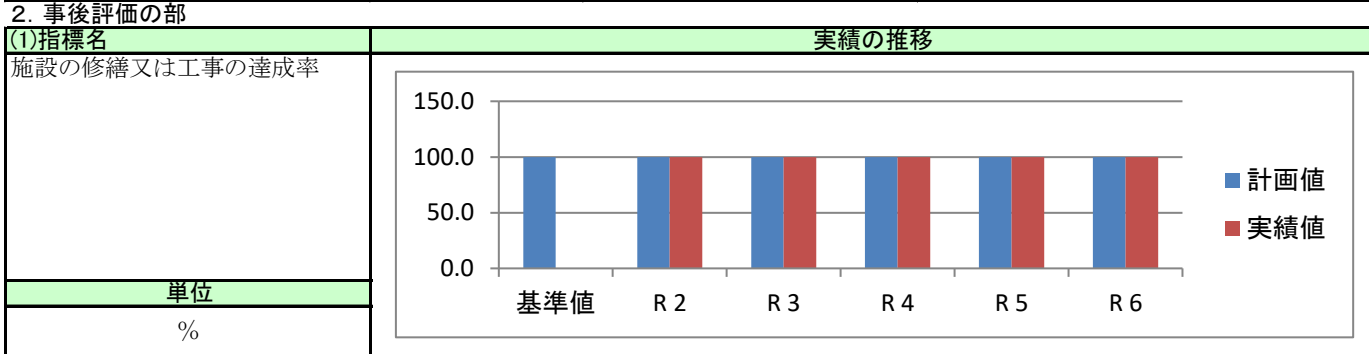
今後の課題(未達成の課題等)

消防庁舎は災害対応の拠点として、市民の安全確保を第一とした施設の機能維持が必要であり、計画的かつ効率的な施設の維持管理を行い、突発的な大規模修繕による費用の抑制が必要である。

今後の展開

A 重点化・拡大して継続		B	1	施設整備計画及び施設修繕計画に基づき、緊急度や重要度に応じた予防保全を行い、機能維持と長寿命化に取り組む。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない			
	2 見直しには法令等の改正が必須			
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早			
	4 現状では見直しが不可能			
C 見直しして継続	1 見直し・縮小			
	2 他事業との整理・統合			
D 休止・廃止等	1 休止			
	2 廃止			
	3 完了			

令和6年度		事務事業マネジメントシート(評価)		作成日	令和7年6月2日	作成
計画事業番号	0004930	事務事業名	消防施設管理事業(所沢東消防署)			
所属部	所沢東消防署	所属課	消防管理課(東)	担当・係	管理	
章	消防施設の整備	節	消防署所の整備	主要施策	消防庁舎の適正管理	
1. 事業内容						
(1)事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
①署の施設の保守管理に関すること。 ②署の施設の整備に関すること。(確認申請が必要な建築行為を除く。) ③消防庁舎の使用許可に関すること。						
(2) 事務事業の分析と指標						
① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 手段(どのような方法で実施するのか)		③ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		
署の管理する消防庁舎		消防庁舎の経年劣化状況と施設管理委託の結果から、重要度(安全性・公共性)に応じた修繕及び改修を行う。		消防庁舎を安全かつ良好な状態で維持保全することで長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図る。		
(3) 事業費						
		決算額(千円)	令和6年度	21,206		



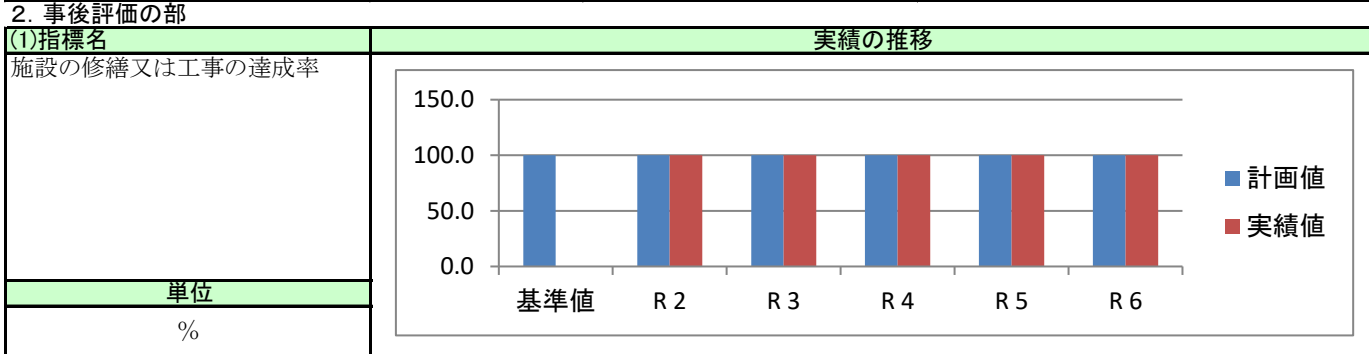
(2)現状分析				
設 問	分析			
	3	2	1	
法令に基づき、義務付けられている事業である。	義務付けられている		義務付けられていない	1
国や県、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	2
社会情勢の変化などにより、事業開始時の目的が変化している。	変化していない	若干変化している	変化している	3
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効ではない	2
事業の成果を示すデータがあり、実績がある。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率の運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
実施に当たって民間委託や市民との協働の余地がある。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2

(3)事務事業の評価
これまでの主な取組と成果
消防庁舎の修繕及び改修を行い、消防庁舎の維持保全と長寿命化やライフサイクルコストの縮減が図れた。 施設修繕5件(所沢東消防署3件、富岡分署2件) 主な修繕内容(所沢東消防署:自家用電気工作物高圧ケーブル交換修繕、給湯器交換修繕、オーバードア修繕、富岡分署:自動ドアセンサー交換修繕、2階トイレ排水管路修繕)

今後の課題(未達成の課題等)
消防庁舎は災害対応の拠点として、市民の安全確保を第一とした施設の機能維持が必要であり、計画的かつ効率的な施設の維持管理を行い、突発的な大規模修繕による費用の抑制が必要である。

今後の展開			今後の取組方針	
A 重点化・拡大して継続				
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能			
C 見直しして継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	B	1	施設整備計画及び施設修繕計画に基づき、緊急度や重要度に応じた予防保全を行い、機能維持と長寿命化に取り組む。
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了			

令和6年度		事務事業マネジメントシート(評価)		作成日	令和7年6月2日	作成
計画事業番号	0004940	事務事業名	消防施設管理事業(狭山消防署)			
所属部	狭山消防署	所属課	消防管理課(狭)	担当・係	管理	
章	消防施設の整備	節	消防署所の整備	主要施策	消防庁舎の適正管理	
1. 事業内容						
(1)事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
①署の施設の保守管理に関すること。 ②署の施設の整備に関すること。(確認申請が必要な建築行為を除く。) ③消防庁舎の使用許可に関すること。						
(2) 事務事業の分析と指標						
① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 手段(どのような方法で実施するのか)		③ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		
署の管理する消防庁舎		消防庁舎の経年劣化状況と施設管理委託の結果から、重要度(安全性・公共性)に応じた修繕及び改修を行う。		消防庁舎を安全かつ良好な状態で維持保全することで長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図る。		
(3) 事業費						
		決算額(千円)	令和6年度	41,972		



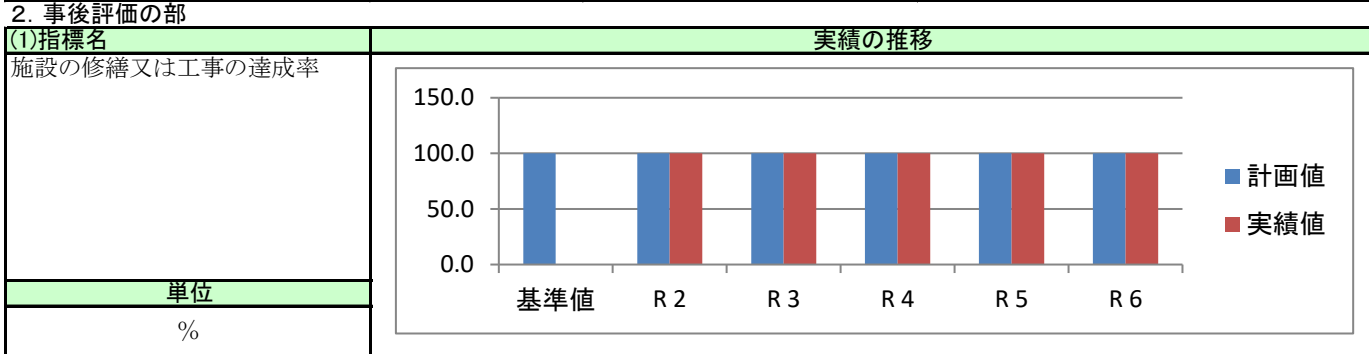
(2)現状分析				
設 問	分析			
	3	2	1	
法令に基づき、義務付けられている事業である。	義務付けられている		義務付けられていない	1
国や県、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	2
社会情勢の変化などにより、事業開始時の目的が変化している。	変化していない	若干変化している	変化している	3
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効ではない	2
事業の成果を示すデータがあり、実績がある。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率の運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
実施に当たって民間委託や市民との協働の余地がある。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2

(3)事務事業の評価
これまでの主な取組と成果
消防庁舎の修繕及び改修を行い、消防庁舎の維持保全と長寿命化やライフサイクルコストの縮減が図れた。 施設修繕32件(狭山消防署10件、富士見分署8件、広瀬分署6件、水野分署8件) 主な修繕内容(狭山消防署:非常照明用直流電源装置交換修繕、冷暖房設備修繕、男子トイレ修繕、富士見分署:空調機修繕、ホースタワー乾燥塔修繕、広瀬分署:空調機修繕、駐輪場屋根修繕、水野分署:さやま光ワイド引込修繕、オーバードア修繕)

今後の課題(未達成の課題等)
消防庁舎は災害対応の拠点として、市民の安全確保を第一とした施設の機能維持が必要であり、計画的かつ効率的な施設の維持管理を行い、突発的な大規模修繕による費用の抑制が必要である。

今後の展開			今後の取組方針	
A 重点化・拡大して継続				
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能			
C 見直しして継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	B	1	施設整備計画及び施設修繕計画に基づき、緊急度や重要度に応じた予防保全を行い、機能維持と長寿命化に取り組む。
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了			

令和6年度		事務事業マネジメントシート(評価)		作成日	令和7年6月2日	作成
計画事業番号	0004950	事務事業名	消防施設管理事業(入間消防署)			
所属部	入間消防署	所属課	消防管理課(入)	担当・係	管理	
章	消防施設の整備	節	消防署所の整備	主要施策	消防庁舎の適正管理	
1. 事業内容						
(1)事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
①署の施設の保守管理に関すること。 ②署の施設の整備に関すること。(確認申請が必要な建築行為を除く。) ③消防庁舎の使用許可に関すること。						
(2) 事務事業の分析と指標						
① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 手段(どのような方法で実施するのか)		③ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		
署の管理する消防庁舎		消防庁舎の経年劣化状況と施設管理委託の結果から、重要度(安全性・公共性)に応じた修繕及び改修を行う。		消防庁舎を安全かつ良好な状態で維持保全することで長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図る。		
(3) 事業費						
		決算額(千円)	令和6年度	25,866		



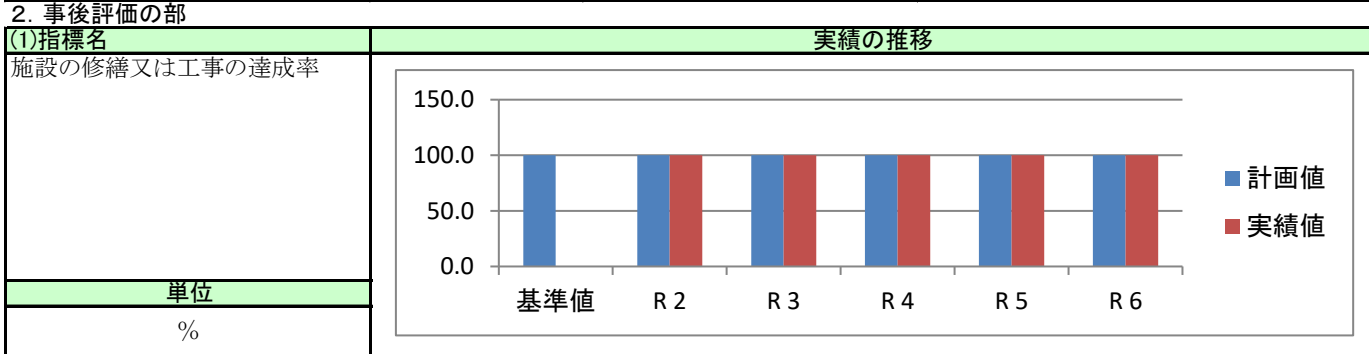
(2)現状分析				
設 問	分析			
	3	2	1	
法令に基づき、義務付けられている事業である。	義務付けられている		義務付けられていない	1
国や県、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	2
社会情勢の変化などにより、事業開始時の目的が変化している。	変化していない	若干変化している	変化している	3
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効ではない	2
事業の成果を示すデータがあり、実績がある。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率の運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
実施に当たって民間委託や市民との協働の余地がある。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2

(3)事務事業の評価
これまでの主な取組と成果
消防庁舎の修繕及び改修を行い、消防庁舎の維持保全と長寿命化やライフサイクルコストの縮減が図れた。 施設修繕21件(入間消防署11件、藤沢分署6件、西武分署4件) 主な修繕内容(入間消防署:高架水槽修繕、シャワー室・浴室折戸修繕、藤沢分署:2階仮眠室排煙オペレーター修繕、オーバードア修繕、西武分署:1階及び2階便所便器修繕、1階事務室雨漏り修繕)

今後の課題(未達成の課題等)
消防庁舎は災害対応の拠点として、市民の安全確保を第一とした施設の機能維持が必要であり、計画的かつ効率的な施設の維持管理を行い、突発的な大規模修繕による費用の抑制が必要である。

今後の展開			今後の取組方針	
A 重点化・拡大して継続				
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能			
C 見直しして継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	B	1	施設整備計画及び施設修繕計画に基づき、緊急度や重要度に応じた予防保全を行い、機能維持と長寿命化に取り組む。
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了			

令和6年度		事務事業マネジメントシート(評価)		作成日		令和7年6月2日		作成			
計画事業番号		0004960		事務事業名		消防施設管理事業(飯能日高消防署)					
所属部		飯能日高消防署		所属課		消防管理課(飯)		担当・係		管理	
章		消防施設の整備		節		消防署所の整備		主要施策		消防庁舎の適正管理	
1. 事業内容											
(1)事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											
①署の施設の保守管理に関すること。 ②署の施設の整備に関すること。(確認申請が必要な建築行為を除く。) ③消防庁舎の使用許可に関すること。											
(2) 事務事業の分析と指標											
① 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等				② 手段(どのような方法で実施するのか)				③ 結果(どんな結果に結び付けるのか)			
署の管理する消防庁舎				消防庁舎の経年劣化状況と施設管理委託の結果から、重要度(安全性・公共性)に応じた修繕及び改修を行う。				消防庁舎を安全かつ良好な状態で維持保全することで長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図る。			
(3) 事業費											
				決算額(千円)		令和6年度		43,120			



(2)現状分析				
設 問	分析			
	3	2	1	
法令に基づき、義務付けられている事業である。	義務付けられている		義務付けられていない	1
国や県、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	2
社会情勢の変化などにより、事業開始時の目的が変化している。	変化していない	若干変化している	変化している	3
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効ではない	2
事業の成果を示すデータがあり、実績がある。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率の運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
実施に当たって民間委託や市民との協働の余地がある。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2

(3)事務事業の評価	
これまでの主な取組と成果	
消防庁舎の修繕及び改修を行い、消防庁舎の維持保全と長寿命化やライフサイクルコストの縮減が図れた。 施設修繕26件(飯能日高消防署:19件、日高分署:2件、稲荷分署:2件、名栗分署:1件、高萩分署:2件) 主な修繕内容(飯能日高消防署:受水槽加圧給水ポンプ1号機漏水等修繕、日高分署:オーバードア修繕、稲荷分署:女性仮眠室改修修繕、名栗分署:1階事務室空調機取替修繕)	

今後の課題(未達成の課題等)	
消防庁舎は災害対応の拠点として、市民の安全確保を第一とした施設の機能維持が必要であり、計画的かつ効率的な施設の維持管理を行い、突発的な大規模修繕による費用の抑制が必要である。	

今後の展開				今後の取組方針	
A 重点化・拡大して継続		B	1	施設整備計画及び施設修繕計画に基づき、緊急度や重要度に応じた予防保全を行い、機能維持と長寿命化に取り組む。	
B 現状のまま継続					
1 大幅な見直しは必要ない					
2 見直しには法令等の改正が必須					
3 見直しの必要性はあるが時期尚早					
4 現状では見直しが不可能					
C 見直しして継続					
1 見直し・縮小					
2 他事業との整理・統合					
D 休止・廃止等					
1 休止					
2 廃止					
3 完了					